

一般会計等 貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	28,750,190,873	固定負債	5,828,384,778
有形固定資産	28,374,065,332	地方債	5,302,548,778
事業用資産	16,143,735,342	長期未払金	-
土地	9,433,503,458	退職手当引当金	525,836,000
立木竹	18,558,300	損失補償等引当金	-
建物	10,886,629,825	その他	-
建物減価償却累計額	△ 4,675,864,817	流動負債	416,451,332
工作物	676,444,898	1年内償還予定地方債	367,928,833
工作物減価償却累計額	△ 207,952,002	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	42,943,419
航空機	-	預り金	5,579,080
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	6,244,836,110
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	12,415,680	【純資産の部】	
インフラ資産	12,175,341,066	固定資産等形成分	30,049,918,797
土地	10,249,293,548	余剰分(不足分)	△ 6,079,428,911
建物	276,031,621		
建物減価償却累計額	△ 198,147,644		
工作物	4,348,493,188		
工作物減価償却累計額	△ 2,500,329,647		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	408,005,323		
物品減価償却累計額	△ 353,016,399		
無形固定資産	3,830,231		
ソフトウェア	1,652,400		
その他	2,177,831		
投資その他の資産	372,295,310		
投資及び出資金	54,910,000		
有価証券	-		
出資金	39,910,000		
その他	15,000,000		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	1,923,375		
長期貸付金	-		
基金	315,849,528		
減債基金	-		
その他	315,849,528		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 387,593		
流動資産	1,465,135,123		
現金預金	162,934,925		
未収金	3,117,337		
短期貸付金	-		
基金	1,299,727,924		
財政調整基金	1,161,787,485		
減債基金	137,940,439		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 645,063		
資産合計	30,215,325,996	純資産合計	23,970,489,886
		負債及び純資産合計	30,215,325,996

一般会計等 行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	3,676,562,390
業務費用	2,117,524,832
人件費	636,614,828
職員給与費	550,099,739
賞与等引当金繰入額	42,943,419
退職手当引当金繰入額	—
その他	43,571,670
物件費等	1,182,764,031
物件費	859,563,884
維持補修費	29,222,014
減価償却費	293,978,133
その他	—
その他の業務費用	298,145,973
支払利息	36,449,380
徴収不能引当金繰入額	1,427
その他	261,695,166
移転費用	1,559,037,558
補助金等	1,095,982,402
社会保障給付	240,307,174
他会計への繰出金	212,920,396
その他	9,827,586
経常収益	464,417,568
使用料及び手数料	150,929,519
その他	313,488,049
純経常行政コスト	3,212,144,822
臨時損失	12,181,323
災害復旧事業費	12,181,320
資産除売却損	3
投資損失引当金繰入額	—
損失補償等引当金繰入額	—
その他	—
臨時利益	2
資産売却益	—
その他	2
純行政コスト	3,224,326,143

一般会計等 純資産変動計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	23,800,346,067	29,110,845,220	△ 5,310,499,153
純行政コスト(△)	△ 3,224,326,143		△ 3,224,326,143
財源	3,383,430,859		3,383,430,859
税収等	2,319,552,306		2,319,552,306
国県等補助金	1,063,878,553		1,063,878,553
本年度差額	159,104,716		159,104,716
固定資産等の変動(内部変動)		928,122,475	△ 928,122,475
有形固定資産等の増加		1,576,315,323	△ 1,576,315,323
有形固定資産等の減少		△ 296,228,003	296,228,003
貸付金・基金等の増加		473,804,299	△ 473,804,299
貸付金・基金等の減少		△ 825,769,144	825,769,144
資産評価差額	-	-	
無償所管換等	10,950,978	10,950,978	
その他	88,125	124	88,001
本年度純資産変動額	170,143,819	939,073,577	△ 768,929,758
本年度末純資産残高	23,970,489,886	30,049,918,797	△ 6,079,428,911

一般会計等 資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	3,382,390,838
業務費用支出	1,823,353,280
人件費支出	636,422,836
物件費等支出	888,785,898
支払利息支出	36,449,380
その他の支出	261,695,166
移転費用支出	1,559,037,558
補助金等支出	1,095,982,402
社会保障給付支出	240,307,174
他会計への繰出支出	212,920,396
その他の支出	9,827,586
業務収入	3,054,939,539
税収等収入	2,319,636,532
国県等補助金収入	284,811,553
使用料及び手数料収入	150,942,673
その他の収入	299,548,781
臨時支出	12,181,320
災害復旧事業費支出	12,181,320
その他の支出	-
臨時収入	483,281,000
業務活動収支	143,648,381
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,044,566,648
公共施設等整備費支出	1,574,065,456
基金積立金支出	470,501,192
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	1,118,339,000
国県等補助金収入	295,786,000
基金取崩収入	822,553,000
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	△ 926,227,648
【財務活動収支】	
財務活動支出	359,215,173
地方債償還支出	359,215,173
その他の支出	-
財務活動収入	1,134,300,000
地方債発行収入	1,134,300,000
その他の収入	-
財務活動収支	775,084,827
本年度資金収支額	△ 7,494,440
前年度末資金残高	164,850,285
本年度末資金残高	157,355,845

前年度末歳計外現金残高	5,524,451
本年度歳計外現金増減額	54,629
本年度末歳計外現金残高	5,579,080
本年度末現金預金残高	162,934,925

全体貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	29,912,996,610	固定負債	6,572,666,176
有形固定資産	29,472,958,570	地方債等	6,046,830,176
事業用資産	16,143,735,342	長期未払金	-
土地	9,433,503,458	退職手当引当金	525,836,000
立木竹	18,558,300	損失補償等引当金	-
建物	10,886,629,825	その他	-
建物減価償却累計額	△ 4,675,864,817	流動負債	470,307,804
工作物	676,444,898	1年内償還予定地方債等	419,073,586
工作物減価償却累計額	△ 207,952,002	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	45,655,138
航空機	-	預り金	5,579,080
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	7,042,973,980
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	12,415,680	固定資産等形成分	31,261,025,534
インフラ資産	13,274,234,304	余剰分(不足分)	△ 6,814,066,611
土地	10,456,297,202	他団体出資等分	-
建物	496,980,225		
建物減価償却累計額	△ 410,628,682		
工作物	13,965,458,148		
工作物減価償却累計額	△ 11,677,470,989		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	443,598,400		
物品	408,005,323		
物品減価償却累計額	△ 353,016,399		
無形固定資産	3,830,231		
ソフトウェア	1,652,400		
その他	2,177,831		
投資その他の資産	436,207,809		
投資及び出資金	54,910,000		
有価証券	-		
出資金	39,910,000		
その他	15,000,000		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	4,307,186		
長期貸付金	-		
基金	377,736,528		
減債基金	-		
その他	377,736,528		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 745,905		
流動資産	1,576,936,293		
現金預金	222,279,021		
未収金	8,000,032		
短期貸付金	-		
基金	1,348,028,924		
財政調整基金	1,210,088,485		
減債基金	137,940,439		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 1,371,684		
繰延資産	-		
資産合計	31,489,932,903	純資産合計	24,446,958,923
		負債及び純資産合計	31,489,932,903

全体行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	5,004,610,811
業務費用	2,450,227,141
人件費	672,207,728
職員給与費	581,781,920
賞与等引当金繰入額	45,655,138
退職手当引当金繰入額	-
その他	44,770,670
物件費等	1,428,751,375
物件費	1,007,520,836
維持補修費	68,951,412
減価償却費	352,279,127
その他	-
その他の業務費用	349,268,038
支払利息	46,949,786
徴収不能引当金繰入額	258,771
その他	302,059,481
移転費用	2,554,383,670
補助金等	2,302,430,010
社会保障給付	240,307,174
その他	11,646,486
経常収益	668,094,520
使用料及び手数料	263,357,681
その他	404,736,839
純経常行政コスト	4,336,516,291
臨時損失	12,321,323
災害復旧事業費	12,181,320
資産除売却損	3
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	140,000
臨時利益	52,462
資産売却益	-
その他	52,462
純行政コスト	4,348,785,152

全体純資産変動計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	23,884,410,539	29,817,606,918	△ 5,933,196,379	—
純行政コスト(△)	△ 4,348,785,152		△ 4,348,785,152	
財源	4,618,905,698		4,618,905,698	—
収等	2,752,022,631		2,752,022,631	
国県等補助金	1,866,883,067		1,866,883,067	
本年度差額	270,120,546		270,120,546	—
固定資産等の変動(内部変動)		1,151,078,778	△ 1,151,078,778	
有形固定資産等の増加		1,804,765,323	△ 1,804,765,323	
有形固定資産等の減少		△ 354,528,997	354,528,997	
貸付金・基金等の増加		530,566,045	△ 530,566,045	
貸付金・基金等の減少		△ 829,723,593	829,723,593	
資産評価差額	—	—		
無償所管換等	442,339,714	442,339,714		
他団体出資等分の増加	—			—
他団体出資等分の減少	—			—
その他	△ 149,911,876	△ 149,999,876	88,000	
本年度純資産変動額	562,548,384	1,443,418,616	△ 880,870,232	—
本年度末純資産残高	24,446,958,923	31,261,025,534	△ 6,814,066,611	—

全体資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	4,651,771,176
業務費用支出	2,097,387,506
人件費支出	671,905,991
物件費等支出	1,076,472,248
支払利息支出	46,949,786
その他の支出	302,059,481
移転費用支出	2,554,383,670
補助金等支出	2,302,430,010
社会保障給付支出	240,307,174
その他の支出	11,646,486
業務収入	4,378,573,919
税収等収入	2,750,845,258
国県等補助金収入	973,591,067
使用料及び手数料収入	263,342,310
その他の収入	390,795,284
臨時支出	12,181,320
災害復旧事業費支出	12,181,320
その他の支出	-
臨時収入	597,506,000
業務活動収支	312,127,423
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,325,704,648
公共施設等整備費支出	1,802,515,456
基金積立金支出	523,189,192
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	1,118,339,000
国県等補助金収入	295,786,000
基金取崩収入	822,553,000
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	△ 1,207,365,648
【財務活動収支】	
財務活動支出	411,874,437
地方債等償還支出	411,874,437
その他の支出	-
財務活動収入	1,279,300,000
地方債等発行収入	1,279,300,000
その他の収入	-
財務活動収支	867,425,563
本年度資金収支額	△ 27,812,662
前年度末資金残高	244,512,603
本年度末資金残高	216,699,941

前年度末歳計外現金残高	5,524,451
本年度歳計外現金増減額	54,629
本年度末歳計外現金残高	5,579,080
本年度末現金預金残高	222,279,021

連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	30,231,359,252	固定負債	6,668,222,746
有形固定資産	29,655,264,265	地方債等	6,059,907,057
事業用資産	16,287,308,164	長期未払金	-
土地	9,445,886,130	退職手当引当金	608,315,689
立木竹	18,558,300	損失補償等引当金	-
建物	11,255,087,037	その他	-
建物減価償却累計額	△ 4,939,728,453	流動負債	723,040,851
工作物	1,196,334,869	1年内償還予定地方債等	660,696,533
工作物減価償却累計額	△ 721,546,366	未払金	2,298,274
船舶	100,980	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 100,980	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	52,873,300
航空機	-	預り金	7,172,744
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	7,391,263,597
その他減価償却累計額	-	【純資産の部】	
建設仮勘定	32,716,647	固定資産等形成分	31,599,687,003
インフラ資産	13,274,234,304	余剰分(不足分)	△ 6,827,478,415
土地	10,456,297,202	他団体出資等分	-
建物	496,980,225		
建物減価償却累計額	△ 410,628,682		
工作物	13,965,458,148		
工作物減価償却累計額	△ 11,677,470,989		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	443,598,400		
物品	503,292,624		
物品減価償却累計額	△ 409,570,827		
無形固定資産	4,184,677		
ソフトウェア	2,006,846		
その他	2,177,831		
投資その他の資産	571,910,310		
投資及び出資金	39,910,000		
有価証券	-		
出資金	39,910,000		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	4,405,817		
長期貸付金	6,136,437		
基金	522,204,977		
減債基金	-		
その他	522,204,977		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 746,921		
流動資産	1,932,112,933		
現金預金	257,290,158		
未収金	8,307,484		
短期貸付金	2,718,082		
基金	1,365,609,669		
財政調整基金	1,227,430,350		
減債基金	138,179,319		
棚卸資産	299,169,540		
その他	389,966		
徴収不能引当金	△ 1,371,966		
繰延資産	-		
資産合計	32,163,472,185	純資産合計	24,772,208,588
		負債及び純資産合計	32,163,472,185

連結行政コスト計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	5,828,762,342
業務費用	2,687,443,891
人件費	802,659,783
職員給与費	695,511,740
賞与等引当金繰入額	52,873,300
退職手当引当金繰入額	8,312,755
その他	45,961,988
物件費等	1,516,097,852
物件費	1,073,407,942
維持補修費	71,904,994
減価償却費	368,013,599
その他	2,771,317
その他の業務費用	368,686,256
支払利息	47,012,230
徴収不能引当金繰入額	259,787
その他	321,414,239
移転費用	3,141,318,451
補助金等	2,882,838,229
社会保障給付	242,941,606
その他	15,538,616
経常収益	670,347,907
使用料及び手数料	270,453,702
その他	399,894,205
純経常行政コスト	5,158,414,435
臨時損失	12,545,735
災害復旧事業費	12,181,320
資産除売却損	224,415
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	140,000
臨時利益	52,462
資産売却益	-
その他	52,462
純行政コスト	5,170,907,708

連結純資産変動計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	24,156,397,574	30,091,089,245	△ 5,934,691,671	-
純行政コスト(△)	△ 5,170,907,708		△ 5,170,907,708	
財源	5,466,522,138		5,466,522,138	-
税収等	3,198,651,031		3,198,651,031	
国県等補助金	2,267,871,107		2,267,871,107	
本年度差額	295,614,430		295,614,430	-
固定資産等の変動(内部変動)		1,186,603,882	△ 1,186,603,882	
有形固定資産等の増加		1,844,579,186	△ 1,844,579,186	
有形固定資産等の減少		△ 370,487,883	370,487,883	
貸付金・基金等の増加		551,098,385	△ 551,098,385	
貸付金・基金等の減少		△ 838,585,806	838,585,806	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	442,339,714	442,339,714		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	27,781,746	29,362,694	△ 1,580,948	-
その他	△ 149,924,876	△ 149,708,532	△ 216,344	-
本年度純資産変動額	615,811,014	1,508,597,758	△ 892,786,744	-
本年度末純資産残高	24,772,208,588	31,599,687,003	△ 6,827,478,415	-

連結資金収支計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	5,456,226,845
業務費用支出	2,314,180,550
人件費支出	797,373,319
物件費等支出	1,148,465,568
支払利息支出	47,012,230
その他の支出	321,329,433
移転費用支出	3,142,046,295
補助金等支出	2,882,838,229
社会保障給付支出	242,941,606
その他の支出	16,266,460
業務収入	5,214,546,378
税収等収入	3,186,922,529
国県等補助金収入	1,371,892,470
使用料及び手数料収入	270,438,331
その他の収入	385,293,048
臨時支出	12,181,320
災害復旧事業費支出	12,181,320
その他の支出	-
臨時収入	599,298,801
業務活動収支	345,437,014
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,384,715,116
公共施設等整備費支出	1,842,329,319
基金積立金支出	540,948,220
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	1,437,577
その他の支出	-
投資活動収入	1,138,590,190
国県等補助金収入	298,342,120
基金取崩収入	828,433,937
貸付金元金回収収入	2,621,938
資産売却収入	-
その他の収入	9,192,195
投資活動収支	△ 1,246,124,926
【財務活動収支】	
財務活動支出	658,804,222
地方債等償還支出	658,804,222
その他の支出	-
財務活動収入	1,527,817,972
地方債等発行収入	1,527,817,972
その他の収入	-
財務活動収支	869,013,750
本年度資金収支額	△ 31,674,162
前年度末資金残高	282,403,045
比例連結割合変更に伴う差額	344,251
本年度末資金残高	251,073,134

前年度末歳計外現金残高	6,496,139
本年度歳計外現金増減額	△ 279,115
本年度末歳計外現金残高	6,217,024
本年度末現金預金残高	257,290,158

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

一般会計

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

平成30年度(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	19,326,569,135	1,963,289,863	262,306,837	21,027,552,161	4,883,816,819	202,444,905	16,143,735,342
土地	9,430,101,509	3,401,949	-	9,433,503,458	-	-	9,433,503,458
立木竹	18,558,300	-	-	18,558,300	-	-	18,558,300
建物	9,041,931,075	1,844,698,750	-	10,886,629,825	4,675,864,817	169,990,162	6,210,765,008
工作物	561,255,734	115,189,164	-	676,444,898	207,952,002	32,454,743	468,492,896
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	274,722,517	-	262,306,837	12,415,680	-	-	12,415,680
インフラ資産	14,969,149,597	26,033,800	121,365,040	14,873,818,357	2,698,477,291	80,030,920	12,175,341,066
土地	10,247,020,544	2,273,004	-	10,249,293,548	-	-	10,249,293,548
建物	262,984,425	13,047,196	-	276,031,621	198,147,644	4,867,301	77,883,977
工作物	4,337,779,588	10,713,600	-	4,348,493,188	2,500,329,647	75,163,619	1,848,163,541
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	121,365,040	-	121,365,040	-	-	-	-
物品	407,536,833	2,718,360	2,249,870	408,005,323	353,016,399	11,064,908	54,988,924
合計	34,703,255,565	1,992,042,023	385,921,747	36,309,375,841	7,935,310,509	293,540,733	28,374,065,332

②有形固定資産の行政目的別明細

(単位:円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	3,455,839,789	9,242,304,868	591,974,575	410,569,232	524,190,928	290,354,125	1,628,501,825	16,143,735,342
土地	2,030,705,872	4,605,979,309	481,644,647	333,931,246	505,632,628	22,950,570	1,452,659,186	9,433,503,458
立木竹	-	-	-	-	18,558,300	-	-	18,558,300
建物	1,417,320,946	4,513,317,664	110,329,928	33,010,545	-	680,211	136,105,714	6,210,765,008
工作物	7,812,971	110,592,215	-	43,627,441	-	266,723,344	39,736,925	468,492,896
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	12,415,680	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	11,270,673,054	12,608,752	1	0	96,078,234	119,374,184	676,606,841	12,175,341,066
土地	9,474,129,809	12,608,750	-	-	-	86,120,948	676,434,041	10,249,293,548
建物	45,833,303	2	1	-	-	32,050,671	-	77,883,977
工作物	1,750,709,942	-	-	-	96,078,234	1,202,565	172,800	1,848,163,541
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	26,946,835	16,926,009	172,806	1,123,203	-	4,376,670	5,443,401	54,988,924
合計	14,753,459,678	9,271,839,629	592,147,382	411,692,435	620,269,162	414,104,979	2,310,552,067	28,374,065,332

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

一般会計

(1) 資産項目の明細

① 無形固定資産の明細

平成30年度(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
無形固定資産	4,364,831	777,600	0	5,142,431	1,312,200	437,400	3,830,231
ソフトウエア	2,187,000	777,600	-	2,964,600	1,312,200	437,400	1,652,400
その他	2,177,831	-	-	2,177,831	-	-	2,177,831

② 無形固定資産の行政目的別明細

(単位:円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
無形固定資産	1,971,357	756,000	984,074	0	0	0	118,800	3,830,231
ソフトウエア	-	756,000	777,600	-	-	-	118,800	1,652,400
その他	1,971,357	-	206,474	-	-	-	-	2,177,831

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

簡易水道事業特別会計

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

平成30年度(平成31年3月31日現在)							(単位:円)
区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	0	0	0	0	0	0	0
土地	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	630,870,665	419,490,273	0	1,050,360,938	869,196,046	8,710,064	181,164,892
土地	100,465,678	-	-	100,465,678	-	-	100,465,678
建物	43,054,900	-	-	43,054,900	42,277,449	942,123	777,451
工作物	487,350,087	419,490,273	-	906,840,360	826,918,597	7,767,941	79,921,763
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
物品	-	-	-	-	-	-	-
合計	630,870,665	419,490,273	0	1,050,360,938	869,196,046	8,710,064	181,164,892

②有形固定資産の行政目的別明細

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	0	0	0	0	0	0	0	0
土地	-	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	181,164,892	0	0	0	0	0	0	181,164,892
土地	100,465,678	-	-	-	-	-	-	100,465,678
建物	777,451	-	-	-	-	-	-	777,451
工作物	79,921,763	-	-	-	-	-	-	79,921,763
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	181,164,892	0	0	0	0	0	0	181,164,892

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

簡易水道事業特別会計

(1) 資産項目の明細

①無形固定資産の明細

平成30年度(平成31年3月31日現在)

(単位:円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-

②無形固定資産の行政目的別明細

(単位:円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

公共下水道事業特別会計

(1) 資産項目の明細

①有形固定資産の明細

平成30年度(平成31年3月31日現在)							(単位: 円)
区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
事業用資産	0	0	0	0	0	0	0
土地	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	502,690,478	8,935,464,202	0	9,438,154,680	8,520,426,334	49,590,930	917,728,346
土地	106,537,973	3	-	106,537,976	-	-	106,537,976
建物	177,893,704	-	-	177,893,704	170,203,589	763,602	7,690,115
工作物	3,110,401	8,707,014,199	-	8,710,124,600	8,350,222,745	48,827,328	359,901,855
その他	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	215,148,400	228,450,000	-	443,598,400	-	-	443,598,400
物品	-	-	-	-	-	-	-
合計	502,690,478	8,935,464,202	0	9,438,154,680	8,520,426,334	49,590,930	917,728,346

②有形固定資産の行政目的別明細

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	0	0	0	0	0	0	0	0
土地	-	-	-	-	-	-	-	-
立木竹	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-
インフラ資産	474,129,946	0	0	0	0	0	443,598,400	917,728,346
土地	106,537,976	-	-	-	-	-	-	106,537,976
建物	7,690,115	-	-	-	-	-	-	7,690,115
工作物	359,901,855	-	-	-	-	-	-	359,901,855
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	443,598,400	443,598,400
物品	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	474,129,946	0	0	0	0	0	443,598,400	917,728,346

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

公共下水道事業特別会計

(1) 資産項目の明細

①無形固定資産の明細

区分	平成30年度(平成31年3月31日現在)						(単位:円)
	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	差引本年度末残高 (D)-(E) (G)
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-

②無形固定資産の行政目的別明細

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-

(単位:円)

注記表

1. 重要な会計方針	
(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法	
①有形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価 ※ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円とする。
②無形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価
(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法	
① 満期保有目的債券の評価方法	該当なし
② 満期保有目的債券以外の有価証券の評価方法	
・市場価格のある有価証券	会計年度末における市場価格
・市場価格のない有価証券	取得価額
③出資金の評価方法	
・市場価格のある有価証券	該当なし
・市場価格のない有価証券	出資価額
(3) 有形固定資産等の減価償却の方法	
①有形固定資産	定額法 残存価額：1円
②無形固定資産	定額法 残存価額：0円
③リース資産	
・所有権移転	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
・所有権移転外	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
(4) 引当金の計上基準及び算定方法	
①徴収不能引当金(貸倒引当金)	過去5年間の平均不納欠損率に基づく徴収不能見込額を計上
②退職手当引当金	職員に対する退職手当の支給に備えるため、財務書類作成基準日において在職する職員が自己都合により退職するとした場合の退職手当要支給額を計上。
③賞与等引当金	職員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、財務書類作成基準日において発生していると認められる金額を計上。
④上記以外に計上している引当金	該当なし
(5) リース取引の処理方法	
ファイナンス・リース取引の会計処理。簡便的な取り扱いの有無と内容	ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行う。
(6) 資金収支計算書における資金の範囲	
①作成している計算書	資金収支計算書
②資金の範囲	流動資産および流動負債(引当金を除く)
(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項	
税込方式または税抜方式	税込方式
2. 重要な会計方針の変更等に係る事項に関する注記	
(1) 会計処理の原則または手続を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が財務書類に与えている影響の内容	なし
(2) 表示方法を変更した場合には、その旨	なし
(3) 連結資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が資金収支計算書に与えている影響の内容	なし
3. 重要な後発事象に係る事項に関する注記	
(1) 主要な業務の改廃の有無	なし
(2) 組織・機構の大幅な変更	なし
(3) 地方財政制度の大幅な改正	なし
(4) 重大な災害等の発生	なし
4. 偶発債務に係る事項に関する注記	
(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況	なし
(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの	なし
(3) その他の主要な偶発債務	なし
5. その他連結財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項	
(1) 対象範囲（対象とする会計）	一般会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計（保険事業勘定）、介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）、後期高齢者医療特別会計、玖珂地方老人福祉施設組合、岩国地区消防組合、周陽環境整備組合、山口県市町総合事務組合、山口県後期高齢者医療広域連合、和木町土地開発公社、和木町峰ヶ峯総合公園管理協会
(2) 出納整理期間の有無	当会計年度に係る出納整理期間（平成30年4月1日～令和元年5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引とする。

注記表

1. 重要な会計方針	
(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法	
①有形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価 ※ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円とする。
②無形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価
(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法	
①満期保有目的債券の評価方法	該当なし
②満期保有目的債券以外の有価証券の評価方法	
・市場価格のある有価証券	会計年度末における市場価格
・市場価格のない有価証券	取得価額
③出資金の評価方法	
・市場価格のある有価証券	該当なし
・市場価格のない有価証券	出資価額
(3) 有形固定資産等の減価償却の方法	
①有形固定資産	定額法 残存価額：1円
②無形固定資産	定額法 残存価額：0円
③リース資産	
・所有権移転	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
・所有権移転外	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
(4) 引当金の計上基準及び算定方法	
①徴収不能引当金（貸倒引当金）	過去5年間の平均不納欠損率に基づく徴収不能見込額を計上
②退職手当引当金	職員に対する退職手当の支給に備えるため、財務書類作成基準日において在職する職員が自己都合により退職するとした場合の退職手当要支給額を計上。
③賞与等引当金	職員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、財務書類作成基準日において発生していると認められる金額を計上。
④上記以外に計上している引当金	該当なし
(5) リース取引の処理方法	
ファイナンス・リース取引の会計処理、簡便的な取り扱いの有無と内容	ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行う。
(6) 資金収支計算書における資金の範囲	
①作成している計算書	資金収支計算書
②資金の範囲	流動資産および流動負債（引当金を除く）
(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項	
税込方式または税抜方式	税込方式
2. 重要な会計方針の変更等に係る事項に関する注記	
(1) 会計処理の原則または手続を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が財務書類に与えている影響の内容	なし
(2) 表示方法を変更した場合には、その旨	なし
(3) 連結資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が資金収支計算書に与えている影響の内容	なし
3. 重要な後発事象に係る事項に関する注記	
(1) 主要な業務の改廃の有無	なし
(2) 組織・機構の大幅な変更	なし
(3) 地方財政制度の大幅な改正	なし
(4) 重大な災害等の発生	なし
4. 偶発債務に係る事項に関する注記	
(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況	なし
(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの	なし
(3) その他の主要な偶発債務	なし
5. その他連結財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項	
(1) 対象範囲（対象とする会計）	一般会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計（保険事業勘定）、介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）、後期高齢者医療特別会計
(2) 出納整理期間の有無	当会計年度に係る出納整理期間（平成30年4月1日～令和元年5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引とする。

注記表

1. 重要な会計方針	
(1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法	
①有形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価 ※ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円とする。
②無形固定資産	・評価方法：取得原価法 ・金額基準（物品）：50万円 ・開始時の評価基準： ①昭和59年度以前に取得したもの：再調達原価 ②昭和60年度以前に取得したもの： - ア 取得原価が判明しているもの：取得原価 - イ 取得原価が判明していないもの：再調達原価
(2) 有価証券等の評価基準及び評価方法	
① 満期保有目的債券の評価方法	該当なし
② 満期保有目的債券以外の有価証券の評価方法	
・市場価格のある有価証券	会計年度末における市場価格
・市場価格のない有価証券	取得価額
③出資金の評価方法	
・市場価格のある有価証券	該当なし
・市場価格のない有価証券	出資価額
(3) 有形固定資産等の減価償却の方法	
①有形固定資産	定額法 残存価額：1円
②無形固定資産	定額法 残存価額：0円
③リース資産	
・所有権移転	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
・所有権移転外	自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法
(4) 引当金の計上基準及び算定方法	
①徴収不能引当金（貸倒引当金）	過去5年間の平均不納欠損率に基づく徴収不能見込額を計上
②退職手当引当金	職員に対する退職手当の支給に備えるため、財務書類作成基準日において在職する職員が自己都合により退職するとした場合の退職手当支給額を計上。
③賞与等引当金	職員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、財務書類作成基準日において発生していると認められる金額を計上。
④上記以外に計上している引当金	該当なし
(5) リース取引の処理方法	
ファイナンス・リース取引の会計処理。簡便的な取り扱いの有無と内容	ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行う。
(6) 資金収支計算書における資金の範囲	
①作成している計算書	資金収支計算書
②資金の範囲	流動資産および流動負債（引当金を除く）
(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項	
税込方式または税抜方式	税込方式
2. 重要な会計方針の変更等に係る事項に関する注記	
(1) 会計処理の原則または手続を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が財務書類に与えている影響の内容	なし
(2) 表示方法を変更した場合には、その旨	なし
(3) 連結資金収支計算書における資金の範囲を変更した場合には、その旨、変更の理由及び当該変更が資金収支計算書に与えている影響の内容	なし
3. 重要な後発事象に係る事項に関する注記	
(1) 主要な業務の改廃の有無	なし
(2) 組織・機構の大幅な変更	なし
(3) 地方財政制度の大幅な改正	なし
(4) 重大な災害等の発生	なし
4. 偶発債務に係る事項に関する注記	
(1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況	なし
(2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの	なし
(3) その他の主要な偶発債務	なし
5. その他連結財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項	
(1) 対象範囲（対象とする会計）	一般会計
(2) 出納整理期間の有無	会計年度に係る出納整理期間（平成30年4月1日～令和元年5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引とする。
(3) 売却可能資産の価額	該当なし
(4) 地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率の状況（普通会計）	・実質赤字比率：－ ・連結実質赤字比率：－ ・実質公債費比率：7.3 ・将来負担比率：67.6